

第27回 研究研修大会 アンケート 集計・考察

新事研 研究研修企画部

Q1 講話についてお聞きます 回収数 308

アンケート回収率 61.72 %
(回答数/参加申込数)
(308/499)

とてもよかった	63	20.5%
よかった	192	62.3%
あまりよくなかった	28	9.1%
無記入	25	8.1%
合計	308	

Q2 全体研究会についてお聞きます。

とてもよかった	97	31.5%
よかった	175	56.8%
あまりよくなかった	10	3.2%
無記入	26	8.4%
合計	308	

【Q1, Q2に関して】

講話から全体研究会へのつながりがありよかった。講話については「提案型事務職員」という言葉が心に残った参加者が多く、配布資料があり、わかりやすかったという声も多かった。また全体研究会ではシンポジストのそれぞれの立場でのお話が印象に残り、今後の仕事に意欲を持った参加者が多かった。

また、内容に対して、時間的に短く研修が深められなく残念であったという意見もある。限られた時間の中での設定であるため、全体日程を組む中で検討を要する。

Q3 参加された分科会もしくは講座についてお聞きます

7/17段階の参加申込数	39	58	98	68	236
8/25の回答数	14	22	81	48	145

◆ 内容についてはいかがでしたか。

	第1分科会	第2分科会	講座研修A	講座研修B	講座研修C
とてもよかった	9 64.3%	19 86.4%	40 49.4%	23 50.0%	11 7.6%
よかった	5 35.7%	3 13.6%	33 40.7%	18 39.1%	77 53.1%
あまりよくなかった	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.3%	38 26.2%
無記入	0 0.0%	0 0.0%	8 9.9%	3 6.5%	19 13.1%
合計	14	22	81	46	145

【Q3に関して】

〔第1分科会、第2分科会〕

各分科会会場でのアンケート集約によるが、いずれも、グループ討議等の中で活発な意見交換がなされ、参考になったとの声が多かった。共感から次のステップに繋いでいくことを期待したい。

〔講座研修A〕

定員を2倍上回る申込みがあり、関心の深さが伺えた。業務に身近な内容であり、講師の実践に基づくとても分かりやすい内容であるとともに、ワークシートを取り入れる等参加型の手法も凝らし、現場で即実践に生かすことが出来ると高い評価が多かった。

〔講座研修B〕

「コーチング」という言葉も耳慣れ、研修の機会ももたれているが、講師の分かりやすい話と進行に、参加者からは今後のコミュニケーション能力に役立てたいと意欲的な意見が寄せられた。

〔講座研修C〕

参加者の意識によるところが大きいため受け止め方も異なる。地域連携は、今後においても大切なテーマである。企画を再考し継続的に進めて行きたい。

Q4 全体を通して、ご意見・ご感想をお書きください。

Q4シートへ

期日	13	第1分科会	0
日程	14	第2分科会	1
会場	8	講座A	1
駐車場	1	講座B	1
開会式	4	講座C	1
講話	0	その他(個人感想)	33
全体会	16	運営	16
		お礼	26

【Q4に関して】

〔大会期日について〕

昨年同様、夏季休暇の取得時期でもあり再考を望む声が多数あった。来年度は時期が早まるためこの問題は解決され则认为るが、夏季休業の時期の地域差及び全国大会、北越大会の開催期日との関連等から決定されることをご理解いただきたい。

〔日程について〕

開会式は来賓のあいさつが多く、時間が長いと感じる参加者がいた。また終了時刻が16:50と昨年度より遅いため不満の声も聞かれた。来賓の挨拶は今後の連携を考えると省けないところでもある。また、終了時刻については、アンケートの中でも伺えるが、一日日程の中で充実した内容を優先させていくとやむを得ないことをご理解いただきたい。

〔会場について〕

上越開催ということで、参加者が少なかったが、前上越大会に比して80名近い増であった。開催場所により影響される部分ではあるが、年々、大会参加への会員の意識の変容が感じられる。

バスの手配・駐車場の確保など昨年度の問題点はクリアできた。会場の立地条件により左右される部分ではあるが、地元上越支部の協力を得る中で、より円滑な大会運営がなされたことが読みとれる。

〔その他〕

大会に一連の流れ、テーマを感じることで、内容も充実していたとの声を多くお寄せいただいた。

その背景には、学校事務職員以外の様々な立場の方からの参加、コメント等をいただき、学校事務を考え、刺激をいただくことが出来たことが大きいと言える。今後も外に発信、アピールし、他機関等との連携を図っていくことを大切にしていきたい。

※ アンケート及び大会申込み時に寄せられた会員の皆様の声を受け止めながら、次回大会、そして今後の研修に生かしていきたいと思ひます。大会への多くのご参加、アンケートのご協力に心より感謝申し上げます。